

社会福祉法人 友愛十字会

ゆうあい

2002

7・1

No. 24

題字 前総裁 三笠宮崇仁親王殿下



砧ディサービスセンター10周年の祝

主な記事

- あかりハウス 総裁 寛仁親王殿下
- 21世紀の新たな取り組み 常務理事 石井 晃
- 10周年感謝の会 砧ホーム園長 沼田 修



あかりハウス

社会福祉法人 友愛十字会
総裁 寛仁親王

「アナトリア考古学」が、2号続きましたので、「福祉」に戻します。

今年の合同運動会は楽しいものになりそうです。

第二十六回から、若者達に進行をまかせる事になり、好評を戴いていますが、柏朋会では、更にその姿勢を充実させる為に、日体大の社会体育研究会のOB・OGの諸君に、今迄の様な外部支援ばかりではなく内部からの支援をもお願ひし、了承されました。

運動会は、運動の専門家が、リードするのが一番好ましい形と考えるからです。そして更に+αとして、学習院大学の応援団が、協力してくれる予定もあります。具体的な形はこれから煮詰めるつもりですが、「応援」はやはりその道の、「プロ」に、「お手本」を見せてもらうのが一番と思います。

授、柏朋会会報「ざ・どど」七四号に、「こ迄来たか！悪しき福祉の見本」を書きましたので、本稿では、「ちよつといい話」を述べます。一昨年、(社福)友愛十字会は創立五十周年を迎え、昼は、朝日生命ホールに於いて式典を

挙行し、夜は、東邸(赤坂御用地内)で、感謝の夕べを催しました。

その折、招待客の中で、朝日新聞論説委員

(当時)の大熊由紀子女史が、時間を間違えて、八時過ぎに東邸に来られました。祝宴は終了していましたが、当宮公邸で二次会開催中でしたので、女史は変則的な形で、皆が酔っぱらっている場面に登場しました。

平身低頭して、遅れた理由を述べつつ、女史は、「富山県のお土産なの、これは！」といつて、おしゃれな包みのクッキーを下さいました。

女史が興味を持つて記事にした、県内の知的障害の人々の作業所の製品との事でした。

「あかりハウス」という處で、「小さいけれど、とても活発なの！」とおっしゃるので、て、自然に交流が為されている様子でした。

「富山では、毎年ウエルフエア・ゴルフをやっているから、寄附の対象にしてもらいいけど・・・」とお答えしました。

それが、トントン拍子に摃り昨年の、「北陸ウェルフエア・ゴルフトーナメント」の収益金は、「ありませんでした。少し振りに、努力が報われたという感動に浸る事が出来ました。

勿論、大熊女史の推薦なら間違ひなかろうと
いう判断があつたからです。

北陸WGT実行委では、翌年、寄附先を視察に行く事にしているので、五月二十日の朝、富山空港から直行して、「あかりハウス」を大会長と共に訪れました。

とてもおしゃれな外装の喫茶店に到着した時、創設者の田中ひさ子所長が出迎えてくれていました。吃驚したのは、昨年の寄附金が、この、「喫茶店」になつた事でした。

伺う処によれば、寄附金に、自前のお金を足して、見事な、「喫茶店」を建設されたのだそうです。喫茶店の奥に、元々のクッキー工場がありますから、理想的な施設になりました。

ホカホカのクッキーが、利用者に供されるのも素晴らしい事ですが、造る人も給仕する人も、知的障害の諸君とヴァオランティアの人達ですから、文字通り、「自立」と、「共に生きる」が実践されています。近頃は、地域の住人達も、ミーティングに使つてくれるらしく各地で開催しており、毎年かなりの額が、地元施設や組織に寄附されていますが、これ程見事な、「生きた寄附」の実体は、今迄見た事があまりませんでした。少し振りに、努力が報われた

きましたが、財政の逼迫により補助金への期待は難しくなりました。からの財源は自助努力で補うことになります。

今、多くの企業が給与体型を能力型・実績型に移行し始めています。私どもの法人でも、来年度から給与体系の年功序列方式を廃止して、

能力型・実績型に変えることにいたしました。

現在、専門家の指導で、各施設からの代表者による給与改正のプロジェクトチームを編成し、施設長もオブザーバーとして加わり、みんなで真剣に検討している最中です。今後は能力のある人や、努力する人が報いられる給与体系にでき上がるものと確信しています。

自己評価と上司評価

能力型・実績型の給与決定を行うためには、職員の仕事の成果や能力を評価することが必要です。評価方法の一つとしては自己評価と上司評価の組み合わせがあります。評価は、その人の一定期間における価値を認識し、評価結果を被評価者にフィードバックして改善することによって、さらにレヴェルアップを図るものであると言われています。評価が不十分であれば評価の意義が薄れ、目的が達成されないこともありますから、被評価者は正確な自己評価を行ふことと、評価されることに慣れて、評価

が悪かつたらアップするために努力することで、が悪かつたらアップするために努力することで、むすびに

つ客観的な判断で評価できるかが、部下の信頼を得て、自信をつけさせることにつながりますので、十分に評価能力を高める訓練をすることが重要になります。

現在、当法人の全施設では情意評価を実施しています。評価の内容は組織のルールを守る規律性、任務を果たす責任性、職員が互いに援助し合う協調性、何事も前向きに取り組む積極性の4つの概念を、職場で目撃するべき事項と、改善したい事項に分けて、職員各自が自己評価すると共に、あらかじめ決めてあるグループが所属する職員をそれぞれ評価するというシステムです。慣れないためか自己評価点とグ

ループ評価点がかけ離れている職員がいるようですが、自他の評価のかけ離れが少ない人ほどリアリティのある人なのです。評価が良くなることは施設が良くなることですから、みんな真剣に努力してほしいものだと思います。

給与体系の決定には、情意評価のほかに、能力評価と業績評価を取り入れることにしていました。指導していただいている専門家からは、評価が職員に納得されるようになれば給与改正は完成されたも同然のようなのだと教えられましたので、プロジェクトチームでは全力を挙げて頑張っているところです。



「施設開設十周年感謝の会」開催



砧ホーム園長 沼 田 修

社会福祉法人友愛十字会の砧ホーム（特別養

護老人ホーム）、友愛デイサービスセンター（身体障害者デイサービスセンター）及び砧ディ

イサービスセンター（老人デイサービスセンター）の3施設は、平成4年4月1日に開設され、本年4月に10周年を迎えるました。

この節目に当たり、これまでご支援、ご協力をいただいた方々に対し感謝を申し上げるため、去る4月12日（金）11時30分から13時まで、友愛十字会別館会議室において、「施設開設10周年感謝の会」が開催されました。その概況について述べます。

ご出席賜りました方々は、世田谷の職員を始め関係者、世田谷社会福祉協議会関係者、大蔵

住宅自治会長、三ツ和会長、友愛十字会後援会幹事、3施設の協力者及びヴォランティアの全員で29名でした。

本法人側からは、常務理事及び3部長、各施

設長等20名程が出席しました。

司会・進行は、小島修治友愛デイサービスセ

ンター長が行い、始めて主催者を代表して石井晃常務理事が挨拶を行いました。挨拶の要旨は次のとおりでした。

「本日は、砧ホーム、砧デイサービスセンター、友愛デイサービスセンターの3施設の開設10周年に当たりまして、これまで本当に世話になりました世田谷区、関係団体及び地域、ボランティアの皆様方に感謝の気持を申し上げさせていただきました。ご臨席を賜り有難うござ

ります。

顧みますと、3施設の開設に係る建物の建築

は、平成元年からですが、昭和56年に国際障害者年の行動計画事業の一環として、長期計画検討委員会を設けまして当法人の将来計画について、昭和58年に世田谷施設整備計画が理事会・評議員会で議決されました。その後、厚生省、



歓談風景

東京都及び世田谷区に計画について説明するとともに、資金的援助をお願いし、昭和63年に助成決定をいただきました。

建築は、平成元年から、第1期工事・第2期工事と2年間かかりました。その間、入所者は既設の建物を改造した宿舎で過ごしていただけ、大変ご不便をかけましたが、辛抱強く待つていただきたことに非常に感謝しております。総工費は、29億8千8百万円かかり、そのうち60%を世田谷にお願いしました。



世田谷区在宅サービス若林部長様ごあいさつ

平成4年3月末に竣工いたしまして、同年4月1日から砧ホーム、友愛デイ、砧デイの3施設が新たに事業を開始し、今年で10年を迎えた。皆様からいろいろご支援をいただき深く感謝いたしております。これからも変わぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げご挨拶といたします。

次に、来賓を代表して世田谷区在宅サービス部長若林謙一郎様にご挨拶をいただきました。

「本日は、多勢の職員及び関係者をお招きいただき有難うございます。

友愛デイサービスセンターを始めとする3施設の開設10周年ということで、本当におめでとうございます。

先程のお話にありました施設整備計画について、世田谷区にお伺いがありいろいろ準備に取りかかったのが、昭和61年頃だったと記憶をしております。

当時としても余り例がない身体障害者と高齢者の複合施設ということで、本当にご苦労があつたことだろうと思います。世田谷区も、社会福祉の基盤整備という面からご支援をさせていただいたということであつたと思っております。

現在、世田谷区から身体障害者デイサービス

事業と在宅介護支援センター事業の実施をお願いしております、お陰様で大変円滑な事業運営をいたしております。区民福祉の向上ということでお好評で感謝申し上げます。

来年度からは、障害者福祉の制度が支援費支給制度に変って参ります。関係者の皆様もご心配なところもあるうかと思います。世田谷区も準備に取り組んでおりますが、皆様のご意見もいただければ思つております。

今日に至るまでの皆様方のご苦労に感謝申し上げますとともに、今後の「多幸」と「発展」を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。」

次に、司会者がご出席賜りました29名の方々を一人ひとりご紹介を申し上げました。

そして、友愛十字会後援会幹事の貝塚富江様が乾杯の音頭をとられ、大きな拍手が起り、懇談の場へと移りました。

会場内は、BGMの流れの中、終始和やかな雰囲気でご歓談が交わされました。

最後に、安藤亮友愛十字会総務部長・友愛ホーム園長の閉会挨拶があり終了しました。

3施設の開設10周年感謝の会は、ささやかではありますでしたが、開催の所期の目的を達することができたものと思つております。

二代目センター長になつて



砧デイサービスセンター長

藤木 敏子

早いもので、砧デイサービスセンターが開所してから十年になりました。

今年の3月までセンター長を勤めていただきた後藤文彦センター長と共に、今日までデイサービスセンターの皆さんと一緒に仕事をさせていただきました。

介護職として現場でお年寄りと一緒に活動は教えられることの方が多く、人生の先輩方の知識や、お年よりの人生は生の歴史で、私達戦後生まれの世代に引き継がなくてはいけない貴重なお話を聞かせてもらいました。

また、デイの活動の中でお年寄りの楽しそうな笑顔がなにより仕事の活力となり、喜びともなっていました。

平成12年4月から始まつた介護保険制度も今 年で3年目となり、ようやく初年度の行政や各機関の混乱も収まり、また皆様のご理解もあつて、デイサービス事業もスムースな運営ができ

るようになつてきました。

ここまでは初代センター長が10年間で基礎を築いていただきました。

これからは福祉の世界が大きくさま変わりしていく時代です。老人は介護保険で、ます変りました。15年度には身体障害者の制度も支援費制度

に移行し、措置制度から契約に変わります。
福祉も契約制度になり、民間の事業者の参加で競争原理が働き良い品質のサービスが要求されていきます。医療保険では利用者は評判の良い病院を選んで受診しますが、福祉施設もこれからは

これらの実現に向けてパワーアップしていくた。15年度には身体障害者の制度も支援費制度

願いいたします。

ためには何が大切なのか?何が必要不可欠なのか?在宅生活を支える柱となつて利用者やご家族の役に立つにはどうすればよいのか?役に立つデイサービスになりたい!

デイサービスで必要とされているものはなにか?住み慣れた我が家で生活を送れるようにするためには何が大切なのか?何が必要不可欠なのか?在宅生活を支える柱となつて利用者やご家族の役に立つにはどうすればよいのか?役に立つデイサービスになりたい!



さあ!夏の帽子作り(砧デイ)

わが法人も、そしてデイサービスセンターも、選ばれる施設となるためには、何を為すべきか?これまでの経験をいかして、さらに研鑽

「介護苦情相談員」の

回・第三火曜日・十四時三十分

「教育委員会」の役割

て取り組むことが大切です。

その成果について

回・第三火曜日・十四時三十分～十七時頃迄・相談内容は相談員が施設担当者に報告をして帰る・個別に相談したい人のために個室を用意する・次回相談日を放送又は掲示物にて知らせる)等事前の打ち合せを済ませ愈々第一回目は十月から開始する運びとなり、此の五月で第八回目の日談日を終了した。

一介護苦情相談員派遣事業は、介の相談日を終了した
スを行う事業所に派遣し、介護サー・ヴィー 建物・設備的なこと、同室者との
ヴィス利用者やその家族の方々の相 人間関係のこと、介護者への要望、
談に応じることにより、利用者等の 介護認定度（非該当者）への不安等
疑問や不満、不安を解消するととも ることも3件程があつた。施設には
に、介護サービスの質的な向上を もと々、相談窓口を開設し、「何時
図ることを目的とする。」 でも、どんな事でも」「聴く」を

町田市高齢者介護課より右記の様

に苦情相談員派遣事業の案内をいたをして來た。然し外部からの相談員だいた。友愛荘の二十八年の歴史、伝統に忘れかけたこと、見えなく伝統に忘れかけたこと、見えなくに話したい、聴いてもらいたい、そなつてきているものがないのか、才の思いが満たされただけで解消する。又、相談員から間接的に聞くことによって介護者は感情的に受け止等々、施設の介護サービスの質がめなくて済む、利用者と職員の間の問われる今日、自分たちの業務の見潤滑油的役割も担つてゐる。ともあれ良き刺激材でもある。

善意のかずかず

次の方々から善意の金品のご寄贈を頂き、また、利用者をご慰問下さいました。ここに心から御礼を申し上げます。

(平成十三年十一月一日～平成十四年四月三十日まで)

(寄附金) 敬称略あくお順
奉公、団師町内会、東京紀尾井町ライ

オングクラブ、ぶどうの会、弥生会

生活支援センター

○世田谷関係

(株)グローバルプロダクトプランニン
谷内悦子、平山幸子

（寄附金）敬称略あくお順
グ、(株)福祉施設共済会、関東ボウリ

ング場協会、砧教会学校、砧地

区社会福祉協議会、佐々木記念障害

者援助基金、佐藤秀子、ジャパンレ

ディスボウリングクラブ、JA東京

中央千歳地区女性部、昭和女子大学

付属昭和中学校・高等学校生徒会、

世田谷区高齢者クラブ連合会、東急

弘潤会、安田美智子

○友愛荘

今井アヤ子、家族会、小石川明星教

会、菅野昭正、岡師馬駆講中、岡師

事業団、農業会

○友愛荘

桜美林学園幼稚園、キリンビール

株式会社、在団法人報知社会福祉

会

（慰問）敬称略あくお順

（招待）敬称略あくお順

○世田谷関係

○世田谷関係

青柳太鼓（和太鼓演奏）、石井戸嶠
子保存会（お囃子）、稲見喜一（折

り紙）、大賀チヨ（指編み講師）、

砧幼稚園（お楽しみ会）、佐伯靖子

（音楽）、玉川聖学園（合奏・歌・

クイズ）、たんぽぽ（コーラス）、

土屋勝美（カラオケ講師）、西山恵

美子（陶芸活動補助）、野沢晶山

（尺八）、ふじの会（演芸・新舞

踊）、ミューズ（コーラス）、山野

小学校児童（ゲーム・歌）、若竹太

鼓（和太鼓演奏）

○友愛荘

開園記念式（フラダンス・東京紀尾

井町ライオンズ）、クリスマス交歓

会（町田ときわ保育園）、クリスマ

スと年忘れの集い（ジャズ演奏・

ジャズバンド「ごめんね」、賛美

歌・ぶどうの会）、新年祝賀の集い

（楽器演奏・マンドリンギタークラ

ブ）、ひな祭り（コージーラス・アン

サンブルペオニー）



ボーリング大会で（友愛デイ）

I W A J A P A Nプロレス株（プロレス試合）、(株)L L P W（女子プロレス試合）、寿々喜会寿々喜試合）、ダイヤモンドコンピューター（株）社会貢献室（プロ野球試合）、東京沖縄県人会（沖縄フェスティバル）

財団法人日本バレーボール協会、

ダイヤモンドコンピュータ（株）社会貢献室

友愛十字会主要行事

平成
13
.11
.15
14
.4
30



友遊会のお花見（友愛ホーム）



100才の誕生日（砧ホーム）

職員異動

平成13・11・1～14・4・30

○友愛デイサービスセンター

○友愛荘

採用 作業療法士

小出由貴子 14・4・1

友愛ホームより配置換(転入)

寮父 萬田浩史 14・4・1

退職 主任職業指導員

片峰昭彦 14・4・1
磯崎 洋 13・12・31
事務員 渡田きよみ 14・3・31

採用 積務部長 中嶋邦夫 14・4・1	介護職員 横田康子 14・4・1
退職 看護職員 河井富子 14・2・28	務務部長 松本榮一 14・3・31
介護支援専門員 佐藤功太郎 14・3・31	介護職員 帖佐由美子 14・3・31

関東地方も梅雨にはいりました。毎年のこととはいえ、鬱陶しいとも思いますが、お米には必要な雨ですから何とか明るく乗りきっていきました。今年は、日韓ワールドカップが開催され、この鬱陶しさを晴らしてくれています。各国のお国柄が見られ、試合を見に行かなくても、連日の報道からうかがえて興味深いものです。

○友愛ホーム

昇任 副主任寮母

藤井るり子 14・4・1

友愛デイサービスセンターより配置換(転入)

寮父 北澤良博 14・4・1

採用 職業指導員 渡邊朗史 13・12・11	退職 看護師 渡田香代子 14・14
調理員 寮父 萬田浩史 14・4・1	志村つえ 14・3・31

採用 介護職員 野口智弘 14・4・1	介護職員 横田康子 14・4・1
退職 施設長 後藤文彦 14・3・31	看護職員 河井富子 14・2・28
昇任 施設長 藤木敏子 14・1・31	務務部長 松本榮一 14・3・31

○東京都聴覚障害者生活支援センター



新しい利用者と家族（友愛デイ）



年忘れの集い（砧ホーム）

ゆうあい

第二十四号

平成十四年七月一日発行
発行 社会福祉法人 友愛十字会

発行人 石井 晃
電話 (03) 三四一六一三二六一

〒157-8575 東京都世田谷区砧

三丁目九番十一号

採用 介護職員 野口智弘 14・4・1	退職 施設長 後藤文彦 14・3・31
昇任 施設長 藤木敏子 14・1・31	

編集後記